

# 十二基の祠が静かに佇む県境の山

# 上の浅間・下の浅間周遊コース

愛知、静岡の県境にある静かな山。山頂では十二基の祠が大切に祀られています。  
上の浅間山頂からは、富士山を望むことができます。



## 登山道入口



国道257号線沿い、市営バス「山王」バス停から約200M浜松方面に向かった右手に登山道の入り口があります。

## 道の駅 鳳来三河三石



ハイキングの拠点となる「道の駅 鳳来三河三石」は、駐車場、トイレ、売店等が整備されています。また、施設の裏手には「満光寺」や「柿本城跡」等の見どころがあります。

## 上の浅間からの眺望・富士山を望む



上の浅間は、山頂からの見晴らしがよく、北東方向に遠く富士山や南アルプス等を一望することができます。また、登山道の途中からは、

鳳来寺山や宇連山、明神山など奥三河を代表するの山々を木々の間から望むことができます。

上の浅間、下の浅間は愛知、静岡県境に延びる弓張山地にある山です。県境沿いに延びる弓張山地の稜線には、浅間山と名のつく山が市内阿寺地区と、豊橋市高山にもあります。  
この上の浅間、下の浅間は比較的なだらかな山で、幅広い年齢層が登山を楽しむことができます。また、上の浅間の山頂には、12基の立派な祠が立ち並び、この場所が地元の人々にとって、古くから大切な場所であったことを物語っています。  
山麓には、家康を助けたニワトリと庭園で有名な満光寺や、井伊谷三人衆のひとり鈴木重時の居城であった柿本城跡など、戦国の歴史を今に伝える名所、旧跡があります。

## コース概要

- 所要時間 / 4時間
- 距離[水平] / 9.5km
- 標高[上の浅間山] / 519m  
[下の浅間山] / 479m
- レベル / ★★☆☆☆  
家族・一般向け

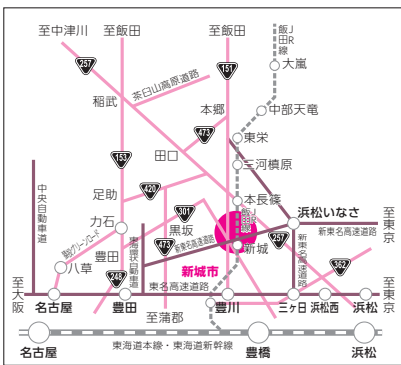
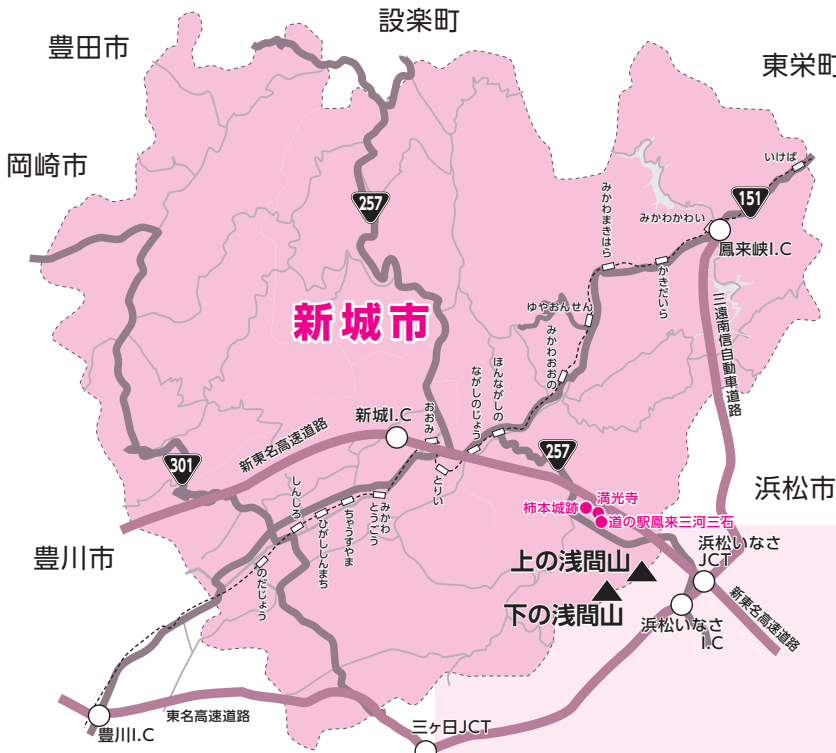
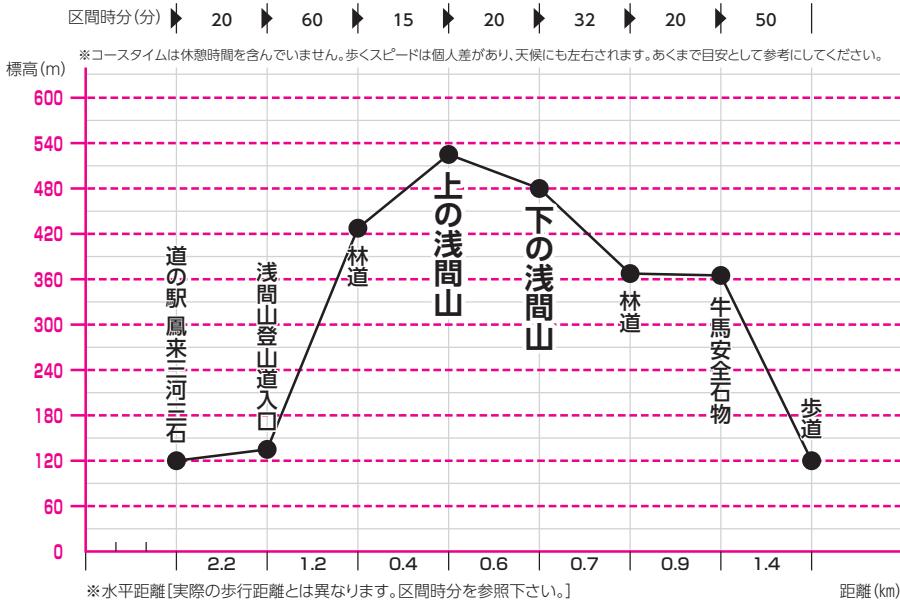
※初～中級者向け。距離・標高も適度であり、少し歩き慣れた家族や一般に最適。

👁️ ビューポイント ⚠️ 注意場所

0 250 500m  
※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平27情発/第962号)

# 上の浅間・下の浅間周遊コース

## INFORMATION コース情報



登山適期

通年

コースの特徴

上の浅間(519m)、下の浅間(479m)は、愛知県と静岡県の県境にあります。登山コースは比較的なだらかで、コース上には地元有志によって取り付けられた案内板があります。

見どころ

植林された杉の中を歩く静かなコースです。途中、地元有志によって案内板が設置されているほか、山頂には登顶記念の記録帳が備えられています。

携帯電話状況

おおむね良好です。☎

## ACCESS 交通アクセス

マイカー

新城ICから国道151号→国道257号→道の駅鳳来三河三石  
浜松いなさICから国道257号→道の駅鳳来三河三石  
※駐車場は道の駅鳳来三河三石をご利用ください。

公共交通機関

JR飯田線本長篠駅下車→長篠バスターミナル→Sバス長篠山吉田線「山王バス停」下車  
※Sバスは日曜、祝日及び年末年始は運休

### 上の浅間、下の浅間周辺の立ち寄りスポット

#### ●道の駅三河三石

道の駅三河三石は、満光寺の入り口、柿本城跡の麓にあります。鳳来地区の特産品や土産品、産直野菜等の販売や、名物の梅を使用した「梅とじうどん・そば」や「三石五平餅」等の食事を楽しむことができます。

定休日：毎週木曜及び年末年始  
営業時間：9:00~17:00 4月~9月 9:00~17:30  
電話：0536-34-0139

#### 満光寺

### いわれ・見どころ

「徳川家康の危機を救った鶏」で有名な曹洞宗の寺院。庭園は書院庭園と庫裡庭園の2庭から構築されており、愛知県の名勝地指定を受けています。

【逸話】家康公の危機を救った満光寺と二つトリ(満光寺パンフレットより)

1570年頃(元龜年間) 家康が若い頃、武田信玄の軍勢に追われて逃げる途中、満光寺に一泊し、一番トリが鳴いたら起こせと頼んで寝ました。

ところがその夜半に突然二つトリが鳴いたので、住職が家康一行を起こしました。一行は大急ぎ闇の中を出発しました。夜明けと共に武田軍が寺を包囲したが、家康一行は危機一髪命拾いしました。

家康はこの恩返しとして、満光寺の二つトリに三石の扶持を与えました。

その後、1649年(慶安2年) 家光から寺領二十石が与えられました。

「山の吉田の満光寺さまのとりになりたや にわとり」  
と、今でも民謡として歌いつがれています。

#### 柿本城跡

柿本城は、井伊家家臣井伊谷三人衆のひとり鈴木重時の居城跡です。三河遠江国境の備えとして、永禄11年(1568年)に家康の命により築城がはじまりました。

元龜3年(1572年)の三方が原の戦いでは、武田軍の別働隊を率いる山県正景に城を包囲されたが、本丸のみ完成したところであったため、城主鈴木重好(重時の嫡子)は、戦いは困難であると考え、和睦により城を明け渡しました。

※コースは一部を除きほとんどが登山道となっています。ご利用の際は、事前にコース状況をお問い合わせいただくとともに、ご自身の体調や体力に充分配慮し安全で楽しい登山をお楽しみください。又、火災予防にもご協力ください。

その他お問合せ

●新城市観光協会 TEL. 0536-29-0829 ●豊鉄タクシー[新城営業所] TEL. 0536-23-5811  
●JR東海テレフォンセンター TEL. 050-3772-3910 ●豊鉄バス[新城営業所] TEL. 0536-24-1141

●コースのお問合せ 新城市観光課 Tel.0536-23-7613

踏査：山野WALK